

# 第 66 年度（平成 31 年度）事業計画書

平成 31 年 4 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

## 平成 31 年度事業計画

(平成 31 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日)

### I. 事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、下記に該当する研究者を対象に研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施する。

- (1) 優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者
- (2) 他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者
- (3) 特に若手の独立前後で将来有望な研究者

#### 1. 研究助成金の交付

##### ◇「研究助成」

全国を対象に理事または評議員（シオノギ関係者を除く）が、優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者、また他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者、特に若手の独立前後で将来有望な研究者等、本財団の目的に相応しい研究者を候補者として選出する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で審議決定をする。

##### ◇「特別研究助成」

大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県下を対象に公募する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で正式な助成決定をする。応募者との直接の利害関係者は選考の評決には加わらないよう選考委員会規程に定めている。

#### 2. 研究成果報告

- ・塩野義製薬株式会社 医薬研究センターにて、「第 38 回公益財団法人篷庵社研究助成発表会」を開催する。また、成果報告書（論文等）の提出を義務付けている。財団ホームページにて成果報告（研究助成発表会講演要旨等）の公開を行っている。

#### 3. 助成の募集

- ・「平成 32 年度特別研究助成」の公募を行う。

### II. 事業の内容

#### 1. 研究助成金の交付

1) 研究助成（全国対象：50 万円/件・年）：

4 年目：5 件、 3 年目：5 件、 2 年目：4 件、 新規：5 件

計 19 件 計 950 万円

## 2) 特別研究助成

(大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県対象, 250 万円/件・年) :

2 年目 : 2 件、 新規 : 2 件

計 4 件 計 1,000 万円

**総計 23 件 計 1,950 万円 を交付予定**

各助成金の交付先は【別紙 1】の通り。

## 2. 第 38 回 研究助成発表会の開催

平成 31 年 7 月 16 日 (火) 午後 1 時から

於 塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム  
(大阪府豊中市二葉町 3-1-1)

プログラムは【別紙 2】の通り。

助成期間が終了した、平成 27 年度新規「研究助成」交付者および平成 29 年度新規「特別研究助成」交付者による研究成果の報告会を行う。

開催費 : 300 万円

## 3. 助成の募集他

「平成 32 年度特別研究助成」の募集テーマを決定し、公募する。  
また、選考委員会を開催し、審議する。採択数は 1~2 件程度の予定。

これら公益目的事業推進費 : 493 万円

事業費総計 : 2,743 万円

## 4. 公益事業拡大に向けた検討会

公益事業拡大に向けた検討会を行う。

以上

## 平成 31 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 50 万円×19 件= 計 950 万円)

助成	所 属 (申請時)	研 究 者	研究テーマ
4 年目	金沢大学医薬保健研究域薬学系 薬理学研究室	金田 勝幸	ストレスによる薬物依存症再燃メカニズムの解明
4 年目	慶應義塾大学薬学部	大江 知之	肝障害を有する医薬品の代謝活性化機構の解明とそれを基盤にした低毒性医薬品の創製
4 年目	静岡県立大学食品栄養科学部	増田 修一	ブドウ球菌毒素が誘導するスーパー抗原活性に対する植物由来成分および生薬による制御機構の網羅的解析
4 年目	香川大学医学部薬理学	西山 成	生活習慣病に対する新しい診断治療法の開発
4 年目	埼玉大学大学院理工学研究科	松岡 浩司	超高感度蛍光共鳴エネルギー移動による定量的バイオセンシングを可能とする新しい糖鎖高分子の創出
3 年目	名城大学薬学部	北垣 伸治	シクロファン系の面不斉を利用した新規触媒の開発
3 年目	大阪大学大学院工学研究科	鳶巣 守	生理活性分子の直接変換を指向した不活性結合の触媒的変換法の開発
3 年目	帝京大学薬学部	高橋 秀依	軸不斉を活かした医薬品の分子設計・高活性化化合物の創製
3 年目	国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所	岡 正啓	細胞核輸送ネットワークと高次生命機能
3 年目	近畿大学薬学部	田邊 元三	サラシノールをシードとする高活性スルホニウム塩型食後過血糖改善薬の合成と活性評価
2 年目	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科	井上 剛	電気生理技術を用いた難治性神経疾患の創薬標的分子の同定
2 年目	同志社女子大学薬学部	前川 京子	メタボローム解析による多発性骨髄腫の治療効果・有害事象発現を予測するバイオマーカーの探索研究
2 年目	京都薬科大学 病態薬科学系 臨床薬理学分野	鳥羽 裕恵	慢性腎臓病増悪因子としての細胞外マトリックスの役割
2 年目	慶應義塾大学薬学部	登美 斉俊	胎盤関門透過の種差を生み出す機能分子の同定とその機能調節機構の解明
新 規	大阪市立大学大学院 医学研究科	塩田 正之	熱ショックタンパク質 70 のがん進展における機能解明と治療標的化
新 規	千葉大学大学院医学研究院 診断病理学・病理診断科	池田 純一郎	治療標的となるがん幹細胞の可塑性に関与する因子の検討
新 規	東京大学大学院薬学系研究科	花岡 健二郎	生体深部の可視化を目指したバイオイメーjingグロブの創製とその応用
新 規	日本医科大学 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学) /共同研究施設 分子解析研究室	早川 清雄	細胞内脂質調節薬剤の開発と炎症制御メカニズムの解析
新 規	京都大学大学院工学研究科	三木 康嗣	水溶性近赤外光増感分子の開発と腫瘍セラノスティクスへの展開

◆ 特別研究助成 (1 件 250 万円×4 件 = 計 1,000 万円)

助成	所 属 (申請時)	研 究 者 名	研究テーマ
2 年目 第 1 位	大阪大学大学院医学系研究科神経遺伝子学	宮崎 雄	神経変性疾患の RAN 病態に基づく新規治療標的の探索
2 年目 第 2 位	滋賀医科大学 神経難病研究センター	森 雅樹	小児脳難病の病態解析によって発見された若年脳遺伝子を用いた遺伝子治療の実現
新規 第 1 位	神戸薬科大学	上田 昌史	環骨格子モデリング戦略に基づく多環式ヘテロ環の創製
新規 第 2 位	京都大学大学院薬学研究科	小林 祐輔	アミドの分子変換を基盤とした医薬品シーズの創製

以上

# 第38回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日時： 平成31年7月16日(火)13時00分から17時25分

場所： 塩野義製薬株式会社 医薬研究センター オーディトリウム

(大阪府豊中市二葉町3丁目1番1号)

06-6331-5105【事務局直通】、06-6331-8081【代表】

※講演順、演題等は変更となる場合がございます。

13:00-13:05 ご挨拶 公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二

## 演題 (講演25分、討論10分)

座長

13:05-13:40 1. メディシナルフラワーを素材とした生体機能性成分の探索

中村 誠宏 先生  
(京都薬科大学 生薬学分野)

小林 資正 先生

13:40-14:15 2. 神経細胞内ミトコンドリアの局在制御とその破綻による  
神経変性のメカニズム

安藤 香奈絵 先生  
(首都大学東京 理学部 生命科学科)

桐野 豊 先生

14:15-14:50 3. 糖尿病病態因子による幹細胞障害の同定と治療標的の探索

今村 武史 先生  
(鳥取大学医学部 病態解析医学講座  
薬理学・薬物療法学分野)

宮崎 瑞夫 先生

14:50-15:25 4. 《特別研究助成》

統合的戦略に基づく新規PPI阻害剤の創製

古徳 直之 先生  
(立命館大学薬学部 生命薬化学研究室)

塩野義製薬(株)  
研究員

15:25-15:40

休憩

15:40-16:15 5. グリーンケミストリーを指向した新規触媒の開発と応用

矢倉 隆之 先生  
(富山大学大学院医学薬学研究部 (薬学) )

北 泰行 先生

16:15-16:50 6. 強酸性炭素酸とその共役塩基に着目した新触媒の開発

矢内 光 先生  
(東京薬科大学 薬学部)

大和田 智彦 先生

16:50-17:25 7. 《特別研究助成》

低分子・中分子創薬を加速する革新的骨格構築法の開発と応用

大野 浩章 先生  
(京都大学大学院 薬学研究科 薬品有機製造学分野)

塩野義製薬(株)  
研究員